
第5期町田市福祉のまちづくり推進協議会町田市バリアフリー一部会
町田駅周辺地区協議会 第3回 会議録

開催日時：2009年9月29日（火）午前9時30分～午後4時15分

開催場所：午前：町田市森野分庁舎 4階 第一・二 会議室

午後：町田市役所本庁舎 地階 特別会議室（大）

出席会員：（敬称略・順不同）

秋山哲男、吉田樹、風間博明、大塚義信、桑原正弘、安野イヨ子、関根善一、小枝公一郎（代理：雨宮）、田島隆子、皿嶋裕規、垣見龍次、佐藤正志、宮代善司

調査員5名、関係各課職員5名

事務局：高橋豊都市づくり部長、渋谷晴久都市計画課交通計画担当課長、奥村繁樹主任、保坂陽子主事、和田

【次第】

1. 開会及び説明
2. 現地点検
3. 課題マップの作成・発表
4. まとめ

【資料】

◎本日のスケジュール

◎町田市バリアフリー基本構想策定に係る現地点検（ワークショップ）実施要領 まち点検
（町田駅周辺地区 現地点検参加者名簿）

【議 事】

<開会>

省略

<課長挨拶>

省略

<職務代理より挨拶>

今回は、鉄道駅の小田急とJR、バスセンターとバスターミナルという交通ターミナルを中心に見て確認をして頂きましたが、今日は駅周辺の道路、施設等の接続について点検をして頂くこととなります。必ずしも全ての所が連続して同じ様な時期、同じ様な施工でやられているわけではありませんので、当然、連続していないところですか、あるいは放置自転車の問題ですか、様々な問題が各班にでてきてくると思います。ルート1、2、3と分かれておりますが、共通した課題がでてくると思います。色々と問題点、「ここは面白い、いいな」と思うところがあるかもしれません。いろいろと発見して頂いて、午後の議論に結び付けていっていったらと思います。今回は、比較的歩行者専用道路で車との接点がほとんどないところで調査していましたが、今日は車との接点や歩行者が多いところを歩きますので、くれぐれも安全の方には留意されて進めて頂ければと思います。今日も長丁場になりますが、よろしくお願い致します。

<確認事項>

会議録音・撮影、議事録の確認を部会長と職務代理にお願いすることについて了承を得た。

<資料確認>

省略

<現地点検の説明>

省略

<各グループに分かれて説明>

省略

<各グループに分かれて現地点検>

ルート1 栄通り～歩行者天国～原町田大通り～町田街道

ルート2 栄通り～町田駅前通り～町田市役所本庁舎

ルート3 栄通り～歩行者天国～原町田大通り～町田街道

<昼休み>

<課題マップ作成の説明>

省略

<各グループに分かれて課題マップの作成>

省略

<グループ毎の発表>

課題マップを張り出して発表

1. ルート1

(A 会員) ルート1は、9名で回ってきました。しかし、視覚障がい者の方で欠席がでてしまいましたので、その辺の踏査は不十分であったと思います。ルート1のポイントと致しましては、スタート地点の森野分庁舎、踏切までの道のり、踏切を渡る部分、商店街、原町田大通り、市役所の前という流れになっております。1点目は森野分庁舎の所でございますが、普段、駅の方から来れば当然、表通り、バス通りを来るわけなのですが、車いすでは入れないので、回りこんで正面玄関の方から入る様になっています。進入路がわからないため、ここには案内板が必要ではないかという指摘がありました(①)。

2点目は、一般の人達に利用価値がどれだけあるのかはわかりませんが、第二庁舎、第三庁舎は主に土木関係の課が入っていたりするのですが、ここは施設がまとまっているのですが、横断歩道が一番外れの方に設置してある。流れで考えた場合、建物の半ばあたりに、横断歩道を設置してあればいいと思います。駐車場も同じ場所にあるわけですから、横断歩道の位置の改良ができないものかという指摘がありました(②)。

全体的に言えることなのですが、きれいな黄色の点字ブロックが泥で汚れていて、よく見えない状態です。弱視の人からすれば、色で判断できるはずなのに、汚れているためにわかりにくくなっています(②)。また、ブロックが欠けているなどという指摘もできています(②)。特に、分庁舎の脇を抜けた辺りの所です。三丁目の所ですが、点字ブロックがありません(②)。道路の両サイドに誘導ブロックがありません。

続いて、車いすの方に踏切を渡って頂いたのですが、その他の参加者は地下道を通ったのですが、踏切で線路の溝に車いすの前輪が落ちるため、踏切は後ろ向きでしか渡れません(④)。車いすにとっては非常に渡りにくい踏切になっています。きれいな地下道が整備されているが、今のままでは車いすは通れない、段差もありますし、視力の悪い方々も通れない状態です。人の流れを見ていると、地下道は踏切を渡るためだけではなく、小田急線の方に向かうためにも利用されているような気がします。この地下道をもっと利用できるようなになれば、健常者の方でも、障がい者の方でも、十二分に活用できることができる方法があるのではないかと思います。エレベーターを設置する、点字ブロックを設置すれば、利用できるようになると思います(④)。また、手摺がありません(④)。

北口の広場の所ですが、市役所の土地ではなく電鉄の土地だということ制限のある所だとわかっていますが、唯一、駅周辺にある交番があるのですが、スロープもなく階段しかない状態です。小田急の管理下であっても、この辺ぐらいいまでは市として、行政として手をつけて頂きたいと思います(④)。

商店街通りですが、荷卸しの車、たくさんの歩行者があつて通りにくいということです(⑤)。また、通り全体の舗装で、インターロッキングは車いす使用者には

移動がしづらいので、一部アスファルト舗装をするなどの対応をして頂きたいという意見がでました。結構、人の流れが多く、商店街ですから健常者は両サイドの色々な物を見ながら動くので、車いす用のレーンを真ん中にひいて、健常者は両サイドを歩くようなすみ分けをしてもいいのではないかという案がでました(⑤)。商店街には誘導ブロックが一切ついておりませんでした(⑤)。

原町田通りですが、新しくできた道で道幅も十分取ってあるし、歩きやすいのですが、舗装で色分けや一方通行にしてしまうなど交通の妨げにならないような対処、歩行者と自転車のエリアを分けるなど歩道が広いことを有効に活用する方法はないかという指摘もでております(⑥)。また、ベンチなどを置いて空間利用ができればいいのではないか、勾配が強く通行がしづらいという意見もでております。良い点としては案内板が車いすの目線で見やすい(⑥)。

原町田大通りと町田街道の交差点は、音響式信号になっていません(⑦)。

町田街道は、段差があつて歩きにくい、特に陸橋では、誘導ブロックがない、点字が途中で切れているなどのご意見が出ましたが、勾配がきつくて車いすで通れる道になっていない(⑩)。歩道橋の所は、誘導ブロックもついていないし、階段しかついていないところもありました。

市役所の前ですが、交番の所で盲人用押しボタンが設置されているのですが、押しボタンが4箇所ぐらいにあり、どれがどのボタンだかがわかりにくいというのに、ボタンの下まで誘導ブロックが設置されていないなどの問題がありました(⑫)。他の国では、音を出しっぱなしにしたりしているらしいが、交番前の交差点の現状では全く意味がない状態であると思います。

交番前は段差がありすぎて車いすでは入れません(⑫)。切下げ勾配がきつすぎます(⑫)。

市役所の入口前通路では、手摺の一部コンクリートブロックが出ていて、車いすの人は危険であるので、クッションをつけるなどの対策が必要であると思います(⑫)。入口の誘導が不十分であると思います(⑫)。

点字の案内板が一つもないが、テロップ式の点字表示があるものがあればいいと思います。

以上で、発表を終わります。

(事務局) ありがとうございます。何か質問はありますか。

(B 会員) 原町田大通りの所で、民間交番から町田街道へ向かって行くとき、結構、十字路がありますが、直進誘導ブロックが設置してあるのに、気がつきましたでしょうか？自動車が来ても私達の場合(視覚障がい者)、誘導ブロックが通っているとそのまま直進してしまいます。その車道の所の誘導ブロックは、あつた方がいいのか、無い方がいいのか秋山先生に確認したいと思います。

音響式の信号機ですが、今は自分で発信機を持ちまして音響式信号の方に受信機が付いていて、自動的に近くになると反応して音が鳴るので、だいたいはわかるのですが、昔は押しボタン式が100%でしたので、そこまで行かないと押しボタンが押せないという事で、東京都や区の方に苦情を言いました。今、音響式信号機の方の種類でも4~5種類でていますが、地方とか渋谷区の方では自動的な発

信機を取り付けているらしいです。

案内板ですが、案内板がどこにあるかはわかりませんが、発信機を持っていて案内板の方に受信機がついていれば、「ここに〇〇があります」と放送されます。市民フォーラムの4階と5階のエレベーターの前に設置されていますし、入り口にも設置されています。以上です。

(事務局) ただいまの質問については、後程まとめて秋山先生の方からさせていただきます。

わかる範囲でご回答いただければと思います。

他にご質問はございますか？ →質問なし

簡単にルート1についての講評をお願いします。

(部会長) 視覚障がい者の誘導ブロックの問題と車いす利用者のさまざまな段差やスロープの問題と標示の話がでてきましたが、誘導ブロックは見たところ、かなり汚くなって視認性が弱者には見えないという可能性が出てきているというのは回っていて気付いた点です。誘導ブロックが全部ある必要があるかという部分については、ガイドラインでは、誘導ブロックと点状ブロックを両方整理するということができていますが、どこまで整理するかということは今のところ出ていません。地域の選択になると思います。大事なのは、点状ブロックと誘導ブロックと二つありますが、優先順位が高いのは交差点の点状ブロックの方がやや優先度が高いということをおし上げておきます。

車いす利用者の交差点の勾配設計ですが、町田市も東京都も同じですが、様々な交差点の勾配の切り方が全部間違っています。9割方間違っています。なんで間違えるのかというと、バリアフリーの知識が建築物とすり合わせてしまったり、事前に勾配を切っていなかったり、バリアフリーの勾配は、標準的には、全ての交差点で、普通は一回落として平坦な部分から勾配を切るのですが、平坦の部分をつくらずに勾配を切っているのが町田市の交差点です。わりと広めの交差点では、緩やかな勾配になっているが、それでも間違っています。基準通りにやれば、かなりスムーズに通行できるのに、それをやっていないのが全体的にみてわかってきたことです。

サインについては、道路のガイドラインの時に作成したのですが、バリアフリールートというのを書くようにできているのですが、残念ながら町田市では、この委員会のあとにバリアフリールートが出来る筈なので、そこでどこかにバリアフリールートをいずれ書いてください。

音声については、ここの部分でやるのかどうかということは、町田市の方が東京都の方がやるときに、障がいをお持ちの方に対してどういうサインを提供するかということをもっと勉強して、見える人だけではなく、見えない人に対するサインのあり方については、ちゃんとやらなければいけない時期にきたと思います。音声信号については、今の音声ではなく、新しい音声が開発され始めてきましたので、ボタンを持って音が出るというのも大事なのですが、スウェーデンなんかですとポールが立っていて、横でツーツーツーツーと音が鳴っています。そしてそれが、信号が青になると、音が早くなり、赤の時は遅くなります。常時、

鳴りっぱなしなのですが、気になりにくい音になっています。そういうのが開発されているのですが、日本の警察はやっていないので、これからの課題になると思います。以上です。

2. ルート2

(C 会員) ルート2の発表を行います。11名で回って参りました。森野分庁舎を出まして、踏切のない逆の方向に向かいました。あけぼの病院と市民ホールの中の広い道を市民ホールの方へ向って行きました。突き当りの所の市民ホールと今度新しく出来る市庁舎予定地を見まして、小田急の駅の方へ向かい、小田急の駅手前の北口の急な坂を上りまして線路沿いに市役所の町田街道にでて、市役所本庁舎までのルートを点検致しました。

全体的に、ルート1に比べ、ルート2は難しいルートではなく、幅が広くて車いすもスムーズに進められる道であるという印象なのですが、細かい課題は多いルートでありました。

森野分庁舎をでますが、栄通りは比較的きれいないい道なのですが、看板が出っ張っていたりしていました(①)。信号になりますが、音の出る信号が必要ではないかという意見がありました(②)。歩道と建物の段差も指摘されました(①)。広い道で快適に進められましたが、幅が広いわりに誘導ブロックがないので、自分の位置がわからないという意見もありました(③)。サインなどを設置して自分の位置がわかるようにしてほしいと思います。町田駅前通りにでる所に、一部インターロッキングがはがれているところがありました(④)。駅前通りにでる信号の所ですが、音響の信号がないという指摘がありました(④)。信号を渡って、市民ホールでは、入り口の所は誘導ブロックが的確に設置されていませんでした(⑥)。また、前を通りますと「市民ホールです」という音声案内が流れるのですが、何か言っていることはわかるが車の音で聞こえず、いい設備が設置してあるが有効に使われていないという意見でした(⑥)。新しい市庁舎へ向かう所は、秋山先生が指摘されました様に、交差点が傾斜になっていて車いすがまっすぐ進めなくなっていました(⑦)。基準が非常に不透明で、今回、回ったルートにおいては、車いすにとっては歩きづらい道路になっていました。

駅に向かって歩いて行きましたが、誘導ブロックが片側にしか設置されていませんでした(⑧)。この道は、車と人通りが激しいのにも関わらず、的確な誘導ブロックの配置になっていませんでした。例えば、建築中のビルがあったのですが、予備の誘導ブロックが設置されていたが、意味をなしていない誘導のされ方をしていました(⑧)。

小田急駅付近の信号機には、音響式信号が必要であるという指摘がありました。小田急線の線路に沿って上がって行きましたが、北口の坂ですが、非常に勾配がきつく、対策が必要であると思います(⑩)。北口の所に案内板があるのですが、大きな目安となる案内がされていませんでした(⑩)。また、歩道が狭いうえに、電柱がありバイクの駐車があり、車いすでは通れない(⑫)。マナーの問題もあると思います。小田急の踏切の近くなのですが、車道と歩道の間に汚水桝が無理に

設置されていて歩道側に段差が生じていました(⑬)。市役所に向かう歩道なのですが、非常に狭いのですが、舗装の色を変えてあり非常にいいと思います、舗装の材質を歩道と車道で変えると更にいいと思います(⑭)。町田街道の交番のところですが、横断勾配がきついという意見がでました(⑮)。市役所本庁舎に入るのにどこから入れればいいのかわからない状況でした。案内板が不足していると思います。車いすだけでなく、健常者用の案内も不足していると思いました(⑯)。全体的に、誘導ブロック、案内板、信号機が大きな問題であると思いました。以上です。

(事務局) ありがとうございます。何か質問はありますか。→質問なし
簡単にルート2についての講評をお願いします。

(部会長) 全体的に言えることは、道路課でやれないことが何箇所かあって、一つ目は坂道です。坂道はどうにもならないので、迂回ルートを作るか何かしないといけないでしょうね。二つ目は、音声の問題が市役所も国土交通省も都庁も手がでない、つまり警視庁かあるいは国かわかりませんが、そのどちらかにお願いして音声をやらないといけないのが、手が出ない二つ目です。この二つを除くと、後は役所が全部やれることです。やれるというのは、都道であっても、今回の交通バリアフリー法の新法では、役所がバリアフリールートとして決めると、都が工事をしないと言っても市役所の土木の人が工事を行えることになったのです。つまり、二つを除いたことは町田市役所でできることになりますので、頑張ってください。以上です。

3. ルート3

(C 会員) ルート3の発表を行います。ルート1と重なる部分もございますので、その他の所で気づいた点を発表したいと思います。今日は、障がい者の方と目線を合わせながら歩いた結果、非常に課題があると実感致しました。
森野分庁舎の歩道の所ですが、歩道が狭く、自転車置き場にチェーンがあるんですが、視覚障がいの方には見にくいので、チェーンに何か目印をつけて頂きたいという意見がでました(①)。
歩道と建物間に段差がある場合など、車いすの方は入れないので、入り口にボタンでもあって呼び出せることができるなどの工夫が出来たらいいと思いました。栄通りにでて、しばらく行きますとバス停がありまして、屋根がついたバス停が設置されていますが、その脇に店舗の敷地内ですが、ベンチが置いてあり、とてもいいことだと思いました(①)。交通量が多くて点字ブロックが破損していましたが、対処が必要だと思います(①)。また点字ブロックとインターロッキングと同じ色の所があり、弱者の方には見えないという指摘もありました。バス停付近の予備校の出入口で、勾配があるのですが、すべり止めのシールが貼ってあり、お金もあまりかからないのに効果があるので、他でも同じようにするのがいいのではないかと思います(①)。踏切の手前ですが、小田急へ向かう階段があるのですが、段差があり、エレベーターがないと言われていましたが、公表されていないのかもしれませんが、来年の春にはエレベーターが設置されると聞いてお

りますので、それが出来ますと車いすの方々は安全に踏切を渡れるようになりますと思います(②)。駅前広場に大きな案内板があるのですが、案内板の前にいすがあって、人が座ってしまうと案内板が見えなくなってしまうということで、ベンチの位置を移動させて頂くなど改善していただきたいと思います。また車いすの方のためのスロープが一つしかないため、遠回りのルートになっていました。自転車の通り抜け防止でポールが立っているので、外して頂きたいと思います(③)。今日に限って警備員がおり、朝天気が悪かったこともあり、放置自転車が少なかったように思えますが、いつもは歩行者天国の5差路の所に放置自転車が多数置いてあるので、自転車置き場をもっと設置する必要があると思われる。歩行者天国は通りも広くできていますが、人の往来が多いということと商品が通りにでていることもあり車いすの人は通りにくい状況である。また、歩行者天国付近には公衆トイレが設置されておらず、有料でもいいから設置して欲しいという意見がでました(④)。JR 町田駅前北の交差点には音響式信号が設置されていますが、音量が低く聞こえにくく、音量を上げてほしいという意見がでました(⑤)。町田東急ツインズ EAST の前の歩行者天国でも歩行者が多く車いすの通行がしにくい状態であります。原町田大通りでは、歩道は広いのですが、ポールがたくさん立っていて、視覚障がい者の方は歩きにくいとの指摘がありました。ポールの何か印をつけるなどの工夫をして頂きたいと思います(⑧)。コインパーキングでは、車を置く車間距離が狭く、車いすの方は降りられないので、広くして頂きたいということと、柵がある所もあり使いづらいという意見もありました。防災無線があるのですが、以前は音がうるさいとのことで放送禁止になったのですが、やはり何かの時に緊急放送が必要ということになり復活はしたが音が小さく聞こえないという問題があります(⑧)。

健康福祉会館と分館の出入口のスロープの勾配がきつく、手動式の車いすでは大変という意見がでました(⑩)。交差点にある巻き込み防止のポールのネジが緩んでいるので、改善して頂きたいと思います(⑩)。陸橋の勾配がきついので、自転車などのすれ違いで危険であると思います(⑪)。交番の前の勾配がキツイという意見がありました(⑬)。市役所本庁舎に入るまでの案内がなくわかりにくいということと、出入口の舗装が石畳で車いすだとガタガタして歩きにくいという指摘がありました。以上です。

(事務局) ありがとうございます。

何か質問はございますか? →質問なし

簡単にルート3についての講評をお願いします。

(部会長) 道路の全体の性格を道路課の方々にどこが問題であったかを整理して頂いて、是非、直す方法を考えて頂きたいと思います。道路以外の問題で、音声信号に関しては、つける場所、つけない場所については警察が決めていることなのですが、町田市では優先順位はこことこの順番で付けてくださいというのを作ってもいいと思います。トイレについてですが、町田市の街を歩いている中で、既存の施設でどこにトイレがあるのかという分布図も作った方がよろしいのかなと感じていたところです。駐車場やベンチなどについても追々検討していくことが必要があ

るとルート3の発表を聞いて感じたことです。

日曜日に二つの視察に行きました。一つは、新宿のコミュニティバスが開通したのでスタートの時に行き、二つ目は、東京都がやっているユニバーサルデザインの計画が妥当であるかどうかチェックに行ってきました。金曜日にも回ったのですが、腑に落ちないので、日曜日に様々なことをチェックしてきたのですが、やはりいくつか問題がでてきました。そこで、何が問題であったかというところ、葛飾区の区役所の方がユニバーサルデザインをまち点検してチェックして計画を作ったのですが、視覚障がい者の観点が抜けていたということと聴覚障がい者の観点が抜けていたということと歴史的建造物である帝釈天に対するバリアフリーが一切ぬけていました。また、車いす利用者のルートも本来計画すべきなのですが、自転車道のわきに歩道をつければいいのに、その計画もぬけており、トイレについても平成3年頃の作りのままで考えていたりしました。サインシステムですが、国道交通省のサインと独自の葛飾区の観光サインと2通り作られて、とても見苦しいサインが大量にありました。なぜこの話を申しあげるかといいますと、ほんの少しユニバーサルデザインのアドバイザーがいるだけで、葛飾のレベルは上がるのです。そういう意味で役所の中に技術者が育っていないということを痛切に感じまして、是非、町田市でも役所の中で頑張る人が建築系と土木系の中で1人ずつぐらい出て頂きたいというのが葛飾区の調査でわかったことであります。したがって、今日のこの調査結果が生きるも死ぬも役所の方がどれだけ頑張るかにかかっているということで頑張ってもらいたいと思います。以上です。

<閉会の挨拶>

省略

<閉会>